

**肝炎を放置すると
肝硬変、肝がん
へと重症化する
可能性があります。**



私たちは 被害者救済とウイルス性患者の治療対策を盛り込んだ『基本合意』をH23年6月に国と結んだ当事者で、B型肝炎ウイルスに感染させられた被害者が速やかに給付金が受け取れるように早期救済を目指して活動を行なっています。

(無料 相談先)

全国 B型肝炎訴訟長崎原告団・弁護士

長崎市賑町5-21 パークサイドトラヤビル401号
崎陽合同法律事務所内

☎ 095-825-2231 (平日10:00~16:00)

肝炎かな？

健康診断の**ALT**に注目

 **ALT > 30**



かかりつけ医を受診しましょう

一般的な健康診断でも肝機能検査として血液検査で広く測定されているALT値が30を超えていた場合、まずかかりつけ医等を受診することを勧めています。

慢性肝臓病が隠れているかもしれません。

参照 日本肝臓学会
奈良宣言2023サイト

ALT > 30 かかりつけ医を



健康診断の数値で知る

“肝臓の健康”

チェック



左記のQRコードを開き、年齢、AST、ALT、血小板数を入れると**肝臓の線維化の指標**（FIB-4インデックス）が計算され、**肝臓の状態**が推定できます。

（日本肝臓学会の資料を参照下さい）

低値：1.3以下

- 肝疾患による線維化の進行リスクは低いです。
- 生活習慣を見直せば、肝機能は改善します。

中間値：1.3～2.67未満

- 線維化が進行している可能性があります。
- かかりつけ医で詳細検査を受けることを推奨。

高値：2.67以上

- 肝硬変、又は肝硬変に近い状態まで線維化が進行している可能性があり、肝臓専門医に相談下さい。